

こうのとりが住める環境づくりが 評価され、自然共生サイトに認定



市の自然再生のモデル地区である「江川地区」が、環境省が「30by30 ※1」目標達成に向け推進する「自然共生サイト ※2」に認定されることが決定した。

江川地区では、国の特別天然記念物コウノトリの飼育・繁殖・放鳥の実施や水田型市民農園の運営のほか、地域の多様な主体と連携して、見守り活動や豊かな自然環境を活用したイベント、調査等を行っており、これらの取り組みが評価され、自然共生サイトの認定となった。

9月30日（金）に砂防会館（永田町）で認定式が行われる。

○江川地区について

耕作放棄され荒廃していた江川地区は、現在、第三セクターの株式会社野田自然共生ファームにより管理が行われ、国の特別天然記念物コウノトリの飼育・繁殖・放鳥や市民農園の整備・運営など野田市の自然再生の取り組みのモデル地区となっている。

同地区では、現在、多くの動植物が確認され、四季を通じた自然体験や農業体験を提供している。また、市民ボランティアの見守り活動や自然保護団体による自然観察会、市内小中学校のフィールドワーク・社会科見学、大学の研究調査拠点の場としても活用されている。

※1 生物多様性の損失を食い止め、回復させる（ネイチャーポジティブ）というゴールに向け、第47回先進国首脳会議（G7 サミット）で合意された、2030年までに陸と海の30%以上を保全するという目標。

※2 環境省では、ネイチャーポジティブの実現に向け、企業の森や里地里山、都市の緑地など「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を「自然共生サイト」に設定する取組を行っている。

問合せ：みどりと水のまちづくり課・直通 04-7199-8147

代表 04-7125-1111（内線 2692）

野 田 市



自然豊かな谷津空間を有する江川地区



飼育施設内で誕生したヒナ（令和3年撮影）



市内外の方が参加する水田型市民農園



令和6年には江川地区で市内初の野外繁殖



自然保護団体の自然観察会の場にも